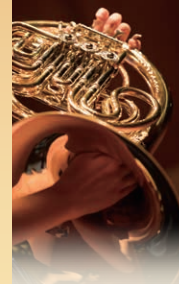
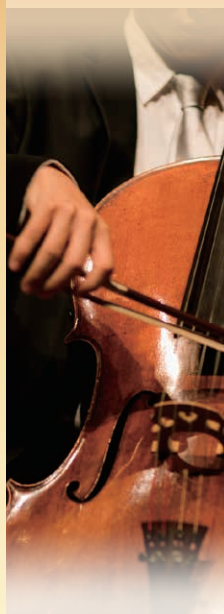




公益財団法人
青山音楽財団
AOYAMA MUSIC FOUNDATION
KYOTO, SINCE 1990

第13回 奨学生成果披露演奏会
若き音楽家たちによる
音の祭典



Vol.1 3.20 fri

Vol.2 3.21 sat

Vol.3 3.22 sun

各 15:00 開演 (14:30 開場)

会場 / 京都 青山音楽記念館 バロックザール

主催：公益財団法人青山音楽財団

後援：京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会

気持ちよく
ご鑑賞いただくために

○写真撮影・録音・録画はお断りいたします。○携帯電話の電源、時計のアラームはお切りください。補聴器をご利用のお客様は発信音が出ないよう、お取り扱いにご注意ください。またお手回品など音の出るものの取り扱いはご注意ください。○客席での飲食はお断りいたします。○感染症対策のため、咳エチケットにご協力ください。

ご挨拶

本日は、「第13回奨学生成果披露演奏会 若き音楽家たちによる音の祭典」にご来場いただき、誠にありがとうございます。本年度も、11の指定大学より44名の優秀な学生をご推薦いただきました。多大なるご尽力を賜りました関係者の皆様に、心より厚く御礼申し上げます。

本演奏会は、奨学生たちが日々の研鑽の成果を披露する場として、毎年多くの皆様にご好評をいただいております。出演者一人ひとりが情熱を注いで磨き上げた技術を存分に発揮し、この舞台を通じて互いに切磋琢磨しながら、さらなる高みへと成長していくことを願ってやみません。

さて、本財団の歩みにおいて、大変喜ばしいニュースがございます。本財団の第5期奨学生であった桑原志織さんが、昨年10月の「第19回ショパン国際ピアノ・コンクール」において第4位入賞という快挙を成し遂げられました。また、第10期から第12期まで3年間にわたり奨学生として研鑽を積まれた大本和司さんは、「第7回タデウシュ・ヴロンスキ国際ソロヴァイオリンコンクール」で入賞を果たされました。その後、コンクールでの成果を問うべく開催されたリサイタルが高く評価され、2025年度第35回青山音楽賞「新人賞」の受賞となりました。本奨学金事業が、演奏会の開催を支援する助成公演事業と連動し、継続的な支援の結実となったことは、私どもにとりまして大きな喜びでございます。本日その研鑽の成果を披露する奨学生各位が、今後さらなる飛躍を遂げられるよう心より願っております。

当財団はこれからも、次代を担う若き音楽家たちの支援に尽力してまいります。今後とも変わらぬご理解とご協力、そして彼らの前途への温かいご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

公益財団法人 青山音楽財団
理事長 青山 敦

本日はご多忙の中、青山音楽記念館 バロックザールへ足をお運びいただき、誠にありがとうございます。

当財団は、故・青山政次氏より寄贈されたこのバロックザールを拠点に、音楽文化の普及・発展と、次世代を担う音楽家の育成を目的として設立されました。その理念のもと、2011年の公益財団法人移行を機に「育成支援事業」を立ち上げ、その柱の一つとして本奨学金事業を発足いたしました。本年度も、厳正な選考を経て迎え入れた44名の奨学生に対し、1年間にわたる支援を行ってまいりました。

本日の「第13回奨学生成果披露演奏会 若き音楽家たちによる音の祭典」は、彼らが歩んできた研鑽の軌跡を皆様に披露する貴重な機会です。真に優れた芸術家は、質の高い聴衆との交流を通してこそ育まれるものと確信しております。舞台上の若き音楽家たちが放つ瑞々しい感性、そして音楽と真摯に向き合う熱意を、ぜひ直接感じ取っていただければ幸いです。

音楽家としての道は、決して平坦なものではありません。皆様には、未来を担う彼らを温かく、時には厳しく見守りながら、この歴史あるバロックザールという場において共に育んでいただけますよう心よりお願い申し上げます。末筆ながら、今後とも当財団の育成事業への温かいご指導、ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

公益財団法人 青山音楽財団
育成支援事業選考委員会
選考委員長 竹林 秀憲

うめもと あゆか
01. 梅本 歩佳 大阪音楽大学 4年/メゾソプラノ

ピアノ
林典子

千原英喜: みやこわすれ

CHIHARA Hideki: *Gymnaster (Miyakowasure)*

チャイコフスキー: 歌劇《ジャンヌ・ダルク》より「さらば森よ」

P.I. Tchaikovsky: "Adieu, forêts" from *Opera Jeanne d'Arc*

「みやこわすれ」は、組曲《みやこわすれ》の終曲です。意図せず離れることになった故郷へ馳せる想いに、薄紫色に咲き誇るミヤコワスレの情景を重ねた哀愁漂う作品です。「さらば森よ」は、フランスの英雄ジャンヌ・ダルクのアリアです。神の信託を受けた彼女の覚悟と、愛する故郷への深い想い、別れの決意を歌います。



[Profile] 第3回東京国際管弦声楽コンクール新進声楽家部門第1位。第12回あおによし音楽コンクール大学生部門第1位。M.L.グロピ氏のマスタークラス修了。北田玉代、荒田祐子の両氏に師事。

ほんどう しゅんや
02. 本堂 竣哉 東京藝術大学 4年/ピアノ

ドビュッシー: 《前奏曲集》第1集 より「雪の上の足跡」、「西風の見たもの」

C. Debussy: *Préludes 1er Livre*, "Des pas sur la neige", "Ce qu'a vu le vent d'Ouest"

私は小さい頃、ドビュッシーに苦手意識を持っていました。もっとも、幼少期はギーゼキングの弾く「仮面」が好きだったのでした。再びドビュッシー音楽の魅力を見させてくれたのは、中学生のときに聴いて今もその心地を覚えている、長尾洋史先生の弾く「雪の上の足跡」の演奏でした。今もこの曲が、自分の幹と深く結びついています。



[Profile] 北海道出身。第9回野島稔・よこすかピアノコンクール第1位。2025年、第23回東京音楽コンクールピアノ部門第1位および聴衆賞。2024年、紀尾井ホール『紀尾井 明日への扉 vol.38』に出演。伊藤恵、大平由美子の両氏に師事。

まつかげ
03. 松蔭 さとり 相愛大学 4年/ヴァイオリン

イザイ: 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ短調 op.27-2 より 第1楽章、第2楽章、第4楽章

E. Ysaïe: *Sonata for Solo Violin in A minor, op.27-2, I. Prélude "Obsession", II. Malinconia, IV. Les Furies*

この第2番のソナタはバッハへの崇拝と死への恐怖が表現された曲です。第1楽章〈妄執〉は永遠に何かに取り憑かれたかのように旋律が展開され、第2楽章〈憂鬱〉では暗い雰囲気の中でたまに光が射します。第4楽章〈復讐の女神たち〉は、ヴァイオリンのあらゆる音域を用いて荒々しい表情が描かれます。人間の精神が描写される魅力あふれる一曲です。



[Profile] 第74回全日本学生音楽コンクール大阪大会高校の部第1位、第12回クオリア音楽コンクールコンサーティスト部門大賞、第8回豊中音楽コンクール弦楽器部門大学・一般の部第1位。甲斐摩耶、大谷玲子、中島慎子の各氏に師事。相愛大学音楽学部特別奨学生。2023、24年度(公財)青山音楽財団奨学生。

おがわ すみか
04. 小川 純果 愛知県立芸術大学 4年/チェロ

カサド: 無伴奏チェロ組曲 より 第1楽章

G. Casadó: *Suite for Cello Solo, I. Prélude-Fantasia*

ガスパール・カサドはスペイン出身のチェリスト兼作曲家です。この「無伴奏チェロ組曲」は3楽章から成り、スペインの舞曲やギター音楽の要素を取り入れた、情熱的で色彩豊かな音楽が特徴です。本日演奏する第1楽章は幻想的な前奏曲で、チェロの多彩な表現と響きの美しさが際立つ楽章となっています。



[Profile] 福島県出身。第77回全日本学生音楽コンクール大阪大会大学の部第1位。令和5年度愛知県立芸術大学優秀学生賞受賞。2025年小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトに参加。2024、25年度明治安田クオリティオブライフ文化財団、2025年度山田貞夫音楽財団各奨学生。五十嵐陽、榊原彩、花崎薫、西谷牧人の各氏に師事。

■ 休憩 ■

さとう てるとし
05. 佐藤 輝季 東京藝術大学 4年/チェンバロ

J.S. バッハ: パルティータ 第4番 ニ長調 BWV 828 より I. 序曲、VII. ジーグ

J.S. Bach: Partita Nr.4 in D major, BWV 828, I. Overture VII. Gigue

全6曲から成る《パルティータ》は、1726~30年にかけて1曲ずつ出版され、1731年に《クラヴィーア練習曲集》の第1部としてまとめられました。この第4番は後半の始まりを告げる華やかな組曲です。本日は、フランス風の付点リズムで幕を開ける堂々とした序曲と、分散和音が躍動する活発なジーグを演奏します。



[Profile]千葉県出身。15歳よりチェンバロを始める。第8回日本バッハコンクール高校生B部門金賞。安宅賞受賞。チェンバロを大塚直哉氏に、通奏低音を大塚直哉、廣澤麻美の両氏に師事。

ほしな ゆうた
06. 保科 結太 東京音楽大学 4年/ヴァイオリン

ビーバー: 《ロザリオのソナタ集》第16番 パッサカリア(守護天使の主題による) ト短調

H.I.F. Biber: Passacaglia in G minor from the Mystery (Rosary) Sonatas

本日演奏する「パッサカリア」は、GDAEの四音からなる低音主題が全曲を通して反復され、その上に多彩な変奏が重ねられていく作品です。技巧的な誇示は控えめに抑えられ、和声の進行と音の持続によって、時間の流れと深い精神性が強く意識されます。《ロザリオのソナタ集》全曲の終結を飾るにふさわしく、祈りや瞑想を思わせる、内省的で深遠な世界が描き出されています。



[Profile]東京音楽大学付属高等学校卒業(首席)。第22回東京音楽大学コンクール弦楽器部門第1位。第34回京都フランス音楽アカデミー受講。海野義雄、大谷康子の両氏に師事。東京音楽大学特別特待奨学生。2024年度(公財)青山音楽財団奨学生。

ひなた けんた
07. 日當 健太 東京藝術大学 3年/テノール

ピアノ
倉橋 陽土

ロッシーニ: 《小荘厳ミサ曲》より「神なる主」

G. Rossini: "Domine Deus" from Petite Messe Solennelle

プッチーニ: 歌劇《ジャンニ・スキッキ》より「フィレンツェは花咲く木のように」

G. Puccini: "Avete torto!...Firenze è come un albero fiorito" from Opera Gianni Schicchi

ロッシーニが華やかなオペラ界を退き、その晩年に作曲した《小荘厳ミサ曲》は、声と音楽の真実を追求した集大成です。歌劇《ジャンニ・スキッキ》より「フィレンツェは花咲く木のように」では、リヌッチョが、新しい才能を受け入れてこそ繁栄するという考えを通して、ジャンニ・スキッキの必要性を訴えています。



[Profile]青森県出身。岩手県立盛岡第四高等学校卒業。第3回東京国際管弦声楽コンクール声楽部門大学生の部第2位。第76回全日本学生音楽コンクール高校の部本選入選。令和7年宮田亮平賞受賞。声楽を鈴木たたえ、佐々木正利、千葉祐也、吉田浩之の各氏に師事。

いろしま まりな
08. 色島 茉里奈 相愛大学 4年/フルート

ピアノ
森田 洋美

サンカン: フルートとピアノのためのソナチネ

P. Sancan: Sonatine for Flute and Piano

この曲は、単一楽章で構成されていますが、序奏的で自由な書法による導入、軽快な主題が展開される中間、叙情的で歌謡的な旋律が現れる場面对比的に配置されている作品です。フランス音楽特有の透明感ある響きや色彩感が魅力であり、フルートとピアノが対話しながら音楽が展開していく点が印象的です。



[Profile]兵庫県立西宮高等学校音楽科卒業。第74回全日本学生音楽コンクール大阪大会高校生の部第1位。第12回あおよし音楽コンクールプロフェッショナルステージ管楽器部門第2位。清水信貴、竹林秀憲、山腰まりの各氏に師事。相愛大学音楽学部特別奨学生。2024年度(公財)青山音楽財団奨学生。

つ の あや ね
09. 津野 絢音 東京音楽大学 4年/ピアノ

ショパン:ピアノ・ソナタ 第3番 口短調 op.58 より 第1楽章

F. Chopin : Piano Sonata No.3 in B minor, op.58, I. Allegro maestoso

ピアノの詩人と呼ばれたショパンによる晩年の大作「ピアノ・ソナタ 第3番」は、詩的な抒情と厳格な構築性が高度に融合した作品です。第1楽章は力強い主題と歌うような繊細で美しい旋律が対話し、緊張と解放を繰り返しながら壮大なドラマを描き出します。内面の情熱と理知がせめぎ合う楽章です。



[Profile]東京都出身。第49回ピティナ・特級銀賞、第21回ショパン国際ピアノコンクールinASIA金賞。2025いしかわミュージックアカデミーにてIMA音楽賞受賞。石井克典、大崎結真、高田匡隆の各氏に師事。東京音楽大学特別特待奨学生。

■ 休 憩 ■

おお やま も だん
10. 大山 桃暖 大阪音楽大学 2年/ピアノ

バルトーク:3つの練習曲 op.18 Sz 72

B. Bartók : Three Etudes, op.18, Sz 72

1918年作曲。半音階的で調性を回避した響きと、打楽器的なピアノ書法による高度な技巧が要求される作品です。急一緩一急の構成で、第1曲は野生的な躍動、第2曲は息の長い抒情、第3曲は拍子変化に富む流動的な運動性が特徴です。3曲それぞれに異なる性格が与えられ、バルトーク独自の色彩感と構成美が鮮明に示されています。



©T.Tairadate

[Profile]2025 Ke'alohe 国際ピアノコンクール(ハワイ)第1位。第5回Shigeru Kawai国際ピアノコンクール第2位。第75回全日本学生音楽コンクール高校の部全国大会第1位。NHKアニメ「ピアノの森」演奏吹替を担当。芹澤文美、芹澤佳司の両氏に師事。シャネル・ピグマリオン・デイズ2026アーティスト。

か ね と う
11. 金藤 エミリ 東京藝術大学 4年/フルート

J.S. バッハ:パルティータ 第2番 二短調 BWV 1004 より V. シャコンヌ

J.S. Bach : Partita No.2 in D minor, BWV 1004, V. Chaconne

J.S.バッハの「シャコンヌ」は、最初の8小節のテーマが30通りに変奏される傑作です。厳粛な主題から始まり、疾走感あふれる短調の第一部、天使の語り掛けのような長調の第二部、そして再び第一部のテーマへと回帰する第三部で構成されます。1720年、旅先から戻り妻の死に直面したバッハが、その悲痛な思いを込めたとされるこの名曲を、フルートの音色でお聴きください。



[Profile] 京都府出身。京都市立京都堀川音楽高等学校卒業。第25回びわ湖国際フルートコンクール第4位。2025年度モーニング・コンサート第4回にて藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。これまでに今井亨、大久保祐奈、中川佳子、高木綾子の各氏に師事。

か わ さ き こ ず え
12. 川崎 梢 同志社女子大学 4年/ヴィオラ

ピアノ
尾崎 愛

ヒンデミット:ヴィオラ協奏曲《白鳥を焼く男》より 第1曲「山と深い峡谷の間で」

P. Hindemith : Der Schwanendreher, I. Zwischen Berg und tiefem Tal

衝撃的な題名を持つこの曲は、ドイツの作曲家パウル・ヒンデミット(1895-1963)によって作曲され、優れたヴィオラ奏者でもあった作曲家自身により初演されました。「吟遊詩人が数々の歌を披露する」という趣向で作曲されたこの協奏曲は、各楽章にドイツの古い民謡からとった副題がつけられています。



[Profile]大阪府立夕陽丘高等学校音楽科卒業。同校2年よりヴィオラに転向。第23回関西弦楽コンクールヴィオラ部門優良賞。京都フランス音楽アカデミー受講。ヴァイオリンを納庄麻里子、井上隆平、松田淳一、ヴィオラを松田淳一、柳生厚彦、一樂もゆるの各氏に師事。

なか そ ね ごう
13. 中曽根 豪

東京藝術大学 4年/バリトン

ピアノ
倉橋 陽土

R.シュトラウス:《4つの歌曲》op.27 より 第3曲「ひそやかな誘い」

R. Strauss: *Vier Lieder, op.27, No.3, Heimliche Aufforderung*

ベッリーニ: 歌劇《清教徒》より「ああ、君を永遠に失った」

V. Bellini: *"Ah! per sempre io ti perdei" from Opera I Puritani*

「ひそやかな誘い」は酒宴をこっそり抜けて、夜の薔薇の園へと誘う陶酔的な歌曲。音楽はにぎやかな酒宴の様子から、愛の夜へと消えゆく2人の足取りに至るまでを繊細かつ官能的に描写する。対照的に「ああ、君を永遠に失った」は戦場から戻ると、婚約していた女性が対立する王党派の男と結婚することになっていた議会派リッカルドの嘆きを歌う。



[Profile]群馬県出身。群馬大学教育学部音楽専攻卒業(首席)。これまでに声楽を山崎法子、渡辺正親、甲斐栄次郎の各氏に師事。2024年度宮田亮平奨学金受賞。2023、24年度(公財)青山音楽財団奨学生。

か とう あ さ み
14. 加藤 亜咲美

桐朋学園大学 3年/ピアノ

ショパン:スケルツォ 第4番 ホ長調 op.54

F. Chopin: *Scherzo No.4 in E major, op.54*

この曲が作曲された時、ショパンは体調不良と精神的な落ち込みに悩まされていました。しかし、この作品には私生活の苦境を感じさせず、一連のスケルツォ4曲中、唯一の長調で書かれており、ショパンならではのエレガンスと、洗練された細部の美しさに際立っています。素晴らしい演奏会の機会に感謝し、心を込めて演奏いたします。



©SmileStyleStudio

[Profile]第37回かながわ音楽コンクール高校生の部最優秀賞、神奈川県知事賞、コンチェルト賞受賞、神奈川フィルハーモニー管弦楽団と共演。フッペル鳥栖ピアノコンクール2022フッペル部門優勝、2023年コンセール・エクラタン福岡と共演。中井恒仁、寺元嘉宏、ヤコブ・ロイシュナーの各氏に師事。

にし かわ み くる

01. 西川 峰来

京都市立芸術大学 4年 / 作曲

ピアノ

池田 彩乃

ヴァイオリン

渋谷 晶世

クラリネット

大淵 晴香



西川峰来: 《Crescent》

NISHIKAWA Mikuru : Crescent

ピアノ、クラリネット、ヴァイオリンのトリオ編成を作曲するのは、本作で二度目となります。一度目は大学1年生の年度末、自主的に開いた新作発表会に出品するために作曲しました。自分の書いた譜面を実際に音にさせていただいて、初めて気がつくことがたくさんあります。予想もしていなかった美しい響きが作られたり、逆に狙っていた効果が得られなかったり……。1年生の頃の私は、自作を音にさせていただく経験がまだ少なかったので、この編成を活かす音を書き切ることができませんでした。しかし同時に、その音の混ざり方に強く魅了されたのです。「いつかもっと上手く曲を書けるようになったら再挑戦したい!」と心に誓いました。卒業を目前にした今でも、思い通りに音を鳴らすことは到底叶いませんが、成果披露演奏会に出品させていただけるこの機会に、あの時誓ったトリオ編成をもう一度書いてみようと思えました。在学中に見つけた私の好きな音、そして学んだことをたくさん詰め込んで書いた一曲です。私の音楽的な歩みと、この編成への愛着を感じていただければ幸いです。

[Profile] 京都府立山城高等学校卒業。これまでに作曲を岡田加津子、加藤ユミコ、中本芽久美の各氏に師事。

もり まつ ふう じん

02. 森松 風仁

桐朋学園大学 3年 / ファゴット

ピアノ

川上 莉々愛



R. シューマン: 幻想小曲集 op.73

R. Schumann : Fantasiestücke, op.73

幻想小曲集は1849年に作曲され、シューマンの作品群の中でも、特に室内楽の傑作が多く生まれた年代に作曲をされています。もともとはクラリネットのための作品でしたが、楽曲の普及などの観点からチェロなどへの編曲版が作られたと考えられています。3楽章構成でありながら、次第に活気を増していく構成をお楽しみください。

[Profile] 東京都出身。第23回東京音楽コンクール木管部門入選、第4回日本奏楽コンクール高校管楽器部門第1位、第10回K木管楽器コンクールファゴット部門第1位。下羽南、藤田旬、武井俊樹、岡本正之の各氏に師事。桐朋学園大学音楽学部特待生。

い づつ り さ こ

03. 井筒 理沙子

京都市立芸術大学 4年 / ソプラノ

ピアノ

望月 夏帆



ヴェルディ: 歌劇《イル・トロヴァトーレ》より「穏やかな夜」

G. Verdi : "Tacea la notte placida" from Opera Il Trovatore

歌劇《イル・トロヴァトーレ》よりレオノーラのアリア「穏やかな夜」は、愛する吟遊詩人マンリーコへの愛を歌った曲です。後半のカバレッタでは、前半とは対照的な華やかなテンポと旋律にのせて、「彼のために生きられないのであれば、私は彼のために死ぬでしょう」と強い愛を歌います。

[Profile] 兵庫県出身。第39回兵庫県高等学校独唱独奏コンクール声楽部門銅賞。第79回全日本学生音楽コンクール大学の部大阪大会声楽部門入選。これまでに声楽を松本薫平、菅英三子の両氏に師事。

かた ひら そう た

04. 片平 颯太

京都市立芸術大学 4年 / テノール

ピアノ

稲垣 慈永



ドニゼッティ: 歌劇《ランメルモールのルチア》より「我が先祖の墓よ」

G. Donizetti : "Tombe degli avi miei" from Opera Lucia di Lammermoor

歌劇《ランメルモールのルチア》の終幕、先祖の墓地でエドガルドが歌う悲劇的なアリアです。愛するルチアに裏切られたという憤りと、彼女を失い生きる希望を断たれた絶望が、ベルカントの美しい旋律で描かれます。愛憎の果てに死を覚悟する男の孤独がドラマチックに表現された、魂を揺さぶる名曲です。

[Profile] 北海道出身。函館ラ・サール高校、同志社大学心理学部卒業。2025年大学主催「オーケストラ協演」に選抜。これまでに声楽を鳥聖子、北村敏則の両氏に師事。

05. 後藤 紫織

武蔵野音楽大学 2年/ヴァイオリン

ピアノ
石田 光希

サラサーテ:序奏とタランテラ op.43

P. de Sarasate: Introduction and Tarantella, op.43

「超絶技巧」を技巧の誇示に終わらせず、精度と気品で音楽としての輝きを放ったヴァイオリニストで作曲家のサラサーテ。静けさの中に熱狂の予感を忍ばせる序奏と、弓が跳ね音が火花のように散り、左手ピッツィカートや重音が重なり、聴き手の緊張感を高めつつ加速するタランテラを、ぜひお楽しみいただきたいです。



[Profile]第44回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール高校生部の第5位。これまでに山森陽子、曾我部陽子、丸山由里子、丹羽道子の各氏に師事。令和6・7年度福井直秋記念奨学金奨学生。

■ 休憩 ■

06. 岡山 花純

京都市立芸術大学 4年/音楽学

音楽演奏中に生じる思考の逸脱は創造性を高めるのか—マインドワンダリングと言語的創造性の関係—

Does the Deviation of Thought Occurring during Musical Performance Enhance Creativity?

- Mind Wandering during Musical Performance and Its Relationship to Verbal Creativity -

音楽演奏において、熟達により動作が自動化されると、演奏に向けられる注意の配分が変化し、演奏とは直接関係のない考えが浮かぶことがあります。このように、取り組んでいる課題と関連のない思考が生じる現象は、「マインドワンダリング(MW)」と呼ばれます。本研究では、演奏中に生じるこのMWが、演奏後に生まれるアイデアの思考様式や特徴とどのように関係しているのかを探究しました。ピアノ専攻の学生を対象に、「弾き慣れた楽曲」と「初見楽曲」の2条件で演奏実験を行い、演奏後のアンケートによってMWを測定しました。さらに、架空の商品名を考案する課題を通じて言語的創造性を評価しました。実験の結果、演奏条件によるMWの生じやすさに大きな差は見られませんでした。一方で、弾き慣れた楽曲では独創性が高い傾向がみられ、アイデアの生成と選別が両立が示唆されました。一方、初見楽曲では妥当な答えに向かってアイデアが収束していく傾向が示されました。この結果は、演奏中のマインドワンダリングが単なる注意の散漫ではなく、新たな創造性を育むための一つのプロセスである可能性を示しています。



[Profile]音楽家の創造性を神経科学および認知科学の観点から研究。教育・福祉の場での実践や表現活動との往還を通じて、創造性の神経メカニズムを多角的に解明することを目指している。

07. 前田 依泉

京都市立芸術大学 4年/音楽学

演奏熟達者における読譜中の瞳孔反応—感覚イメージの鮮明さおよび読譜方略との関連—

The pupillary responses of expert musicians during musical score reading:

Relationships with sensory vividness and reading strategies

熟練した演奏家は、楽譜を読んでいる際に、その音楽を「心の耳」で聴くことがあります。本研究では、読譜中に生じるこうした心的表象に着目し、その鮮明さが眼球の動きや個人の特性とどのように関連しているのかを、アイカメラ(メガネ型眼球運動測定装置)を用いて調べました。実験では、音楽専攻生18名を対象に、「普段通りの読譜」「積極的に想像しながら行う読譜」「無関係な音声刺激による妨害下での読譜」という3つの条件下で読譜を行ってもらい、その直後に流れる音声と同一のものかを判断する課題を実施しました。その結果、聴覚的イメージの鮮明さが、眼球の特定の反応に反映されることが明らかになりました。楽譜という視覚情報が、演奏者の心の中で音へと変換される過程において、眼球の反応はどのように結びつき、個人による特性と関係するのか。本発表では、音楽家の内面で行われている高度な情報処理の一端について報告いたします。



[Profile]「音楽する人」の認知、心理、身体に関心を持ち、現在は特に「読譜における認知過程」を研究。日本音楽知覚認知学会2024年度秋季研究発表会にてポスター選奨を受賞。

08. 高橋 朋之

東京藝術大学 4年/ピアノ

ヘンデル:組曲 第2番 へ長調 HWV427

G. F. Handel: Suite No.2 in F major, HWV 427

ヘンデルの組曲第2番は、クラヴィーア・ソナタの初期形態を思わせる構成が特徴的な作品です。装飾豊かで抒情的な第1楽章、軽快に疾走する第2楽章、哀愁漂う第3楽章、そしてフーガが力強く響く最終楽章の全4楽章で構成されています。この作品の知性と感性が交錯する鮮やかな色彩が、皆様の心に深く響き渡れば幸いです。



[Profile]東京音楽大学付属高等学校ピアノ演奏家コース卒業(特待生)。第75回全日本学生音楽コンクール東京大会高校部の第1位、第4回藝大ピアノコンクール第2位。2024年度モーニング・コンサート第13回にて藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。2023年度藝大クラヴィーア賞受賞。川島基、海瀬京子、志賀悦子、金子勝子、坂井千春の各氏に師事。

まつもと けいすけ
09. 松本 溪祐

東京藝術大学 3年/コントラバス

ピアノ
有川 信平



ヴァンハル: コントラバス協奏曲 二長調 より 第1楽章

J. B. Vanhal: Concerto for Double Bass in D major, I. Allegro moderato

ボッテジーニ: タランテラ

G. Bottesini: Tarantella

古典派の明快さと伸びやかな歌心が魅力のヴァンハルの協奏曲と、コントラバスの技巧と躍動感を存分に味わえるボッテジーニの「タランテラ」をお届けします。この一年、海外での音楽体験を通じて、土地ごとの価値観や美意識が音楽に与える影響を肌で感じました。作品を一度自分の中で解体し、再構築することで得た新たな解釈をもとに、コントラバスの多彩な表情を表現いたします。

[Profile]2024年度全日本弦楽コンクール大学生・院生部門第1位、第6回泉の森コントラバスコンクール第2位、第27回日本演奏家コンクール弦楽器部門大学生の部第2位。2024年新進演奏家育成プロジェクトオーケストラ・シリーズ第73回福岡にて九州交響楽団と共演。池松宏、吉田秀の両氏に師事。

たかまる ゆり
10. 高丸 由鈴

国立音楽大学 4年/ソプラノ

ピアノ
波田 賢門



ドニゼッティ: 歌劇《リタ》より「この清潔で愛らしい宿よ」

G. Donizetti: "È lindo e civettin... Van la casa e l'albergo" from Opera Rita

プッチーニ: 歌劇《ラ・ボエーム》より「私が街を歩けば」

G. Puccini: "Quando me'n vo" from Opera La Bohème

明るく軽やかな旋律で幕を開ける歌劇《リタ》は、生き生きとしたリズムとレガートな旋律から、主人公の強さと愛嬌がにじみ出る一曲です。私にとって、とても思い出のある作品です。「私が街を歩けば」は、別れた恋人に自身の魅力を見せつけるように歌い、自由奔放で少し見栄っ張りな性格が華やかな装飾音や旋律に表された、遊び心あふれる一曲です。

[Profile]福岡県出身。梅光学院高等学校音楽科卒業。第74回全日本学生音楽コンクール高校の部全国大会出場。第11回ANAピアノと歌と管弦のコンクール全国大会第2位、滋賀県知事賞受賞。W.マッテウツィ氏等のマスタークラスを受講。声楽を青木つくし、澤畑恵美、高橋薫子の各氏に師事。

■ 休 憩 ■

あやべ みほ
11. 綾部 未歩

東京藝術大学 3年/作曲

打楽器
小山 真輝、齋藤 龍、松下 真奈



綾部未歩: TRIPULSE for TriPulse (ボディ・パーカッション)

AYABE Miho: TRIPULSE for TriPulse

私はコマツ。タカとスズとは仲良し三人組です。帰り道、いつものように三人で喋っていました。けれど、いつの間にか私はタカと共通の話題で盛り上がりすぎてしまいます。気づくとスズは黙っていました。私は慌ててスズに話を振ると、スズは答えてくれましたが、会話は続きませんでした。その後も私はタカとの会話を続け、思い出したようにスズに話を振ることを繰り返していました。そうしかったわけじゃないのに、まるでスズが蚊帳の外にいるみたいになって、気まずい空気が流れていた……。

「ほうれん草ゲーム」のルール

3人以上で輪になって行われるリズムゲームです。最初の人は、リズムに合わせて「2本のほうれん草」を任意の相手に渡します。このとき、1本ずつ別々の人に渡しても、2本まとめて1人に渡しても構いません。ほうれん草を受け取った人も、同様にリズムに乗って次の誰かへと渡していきます。リズムに乗れなかったり、受け渡しのルールを間違えたりした人が負けとなります。

[Profile]18歳より作曲を始める。第9回シンフォニックジャズ&ポップスコンテスト全国大会ベストベーシスト賞、第1回ジャズポップピアノコンペティション・ティーンズクリエイター部門銀賞など受賞。作曲を高橋裕、望月京、斉木由美の各氏に師事。

う え む ら め い
12. 植村 芽以 京都市立芸術大学 4年/ピアノ

ショパン: 舟歌 嬰へ長調 op.60

F. Chopin : Barcarolle in F-sharp major, op.60

「舟歌」はヴェネツィアの Gondola の歌に由来すると言われています。寄せては返す8分の12拍子のリズムの上に、伸びやかで美しい旋律が豊かに歌われます。ショパンは恋人サンドとの関係の冷え込み、持病の結核の悪化など絶望的な状況の中にありながらも、後に最高傑作と謳われるこの作品を残しました。



[Profile]大阪府出身。第21回宝塚ベガ学生ピアノコンクール第2位、第46回ピティナ・ピアノコンペティションG級全国大会入選。2024年度交換留学生としてウィーン国立音楽大学へ留学。山浦菊子、C.ソアレス、延時幸子、C.ヒンターファー、田村響の各氏に師事。

あ お や ま の ん
13. 青山 暖 東京藝術大学 3年/ヴァイオリン

イザイ: 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ短調 op.27-2

E. Ysaÿe : Sonata for Solo Violin No.2 in A minor, op.27-2

この作品は「死」をテーマとし、全4楽章で構成された無伴奏ヴァイオリンソナタの傑作です。ジャック・ティボーに献呈され、バッハのパルティータ第3番の引用や、グレゴリオ聖歌〈怒りの日 (Dies Irae)〉が循環主題として全編に現れ、高度な技術とともに劇的な感情を表現する名曲です。本日は大好きなこの曲の持つ緊張感と共に、色彩豊かな音色をお届けできるように演奏いたします。



[Profile]岡山県出身。第91回日本音楽コンクール第2位、第22回日本演奏家コンクール第1位、第24回松方ホール音楽賞。第24回岡山芸術文化賞グランプリ受賞。東京藝術大学宗次徳二特待奨学生。

さい と う う た
14. 齋藤 温誉 愛知県立芸術大学 4年/トランペット

ピアノ

北川 温子

シェーン: トランペット協奏曲 第1番 より 第1楽章、第3楽章

C. Chaynes : Trumpet Concerto No.1, I. Moderato - Presto III. Final: Allegro giocoso

この曲は1956年、パリ音楽院の課題曲として作曲されました。第1楽章は、半音階を基調とした陰鬱な旋律と緩やかで叙情的な楽想が交錯する自由な形式で書かれています。第3楽章は、調性音楽に基づく和声に加えて、複調的な響きや隣接する音を同時に重ねて強烈な緊張感を生み出す「クラスター」のような不協和音も現れています。



[Profile]札幌市出身。第16回関西トランペット協会コンクールオケスタソロ部門第1位。2025年愛知県立芸術大学音楽学部第58回定期演奏会に選抜。松田次史、井上圭、長谷川智之の各氏に師事。

か わ か み り り あ
15. 川上 莉々愛 桐朋学園大学 2年/ピアノ

ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ 第31番 変イ長調 op.110 より 第1楽章、第2楽章

L. V. Beethoven : Sonate für Klavier Nr.31 As-Dur, op.110,

I. Moderato cantabile molto espressivo II. Allegro molto

本作品は、ベートーヴェンの晩年にあたる1822年に完成されました。ロマン派の先駆者としてのベートーヴェンの精神性が随所に感じられる作品です。全楽章を通して、神や天国との繋がりを思わせる世界観が描かれており、今回演奏させていただく楽章においてもそうした世界を皆様にお伝えできますよう、誠心誠意演奏いたします。



[Profile]第77回全日本学生音楽コンクール高校の部全国大会第2位。第25回日本演奏家コンクール高校生の部第1位、準グランプリ、東京フィルハーモニー交響楽団との共演者に選抜。ピアノを新井博江、斎木隆、室内楽を練木繁夫、水谷晃の各氏に師事。

いまい みつみ
01. 今井 満美 相愛大学 3年/フルート

ピアノ
生田 英奈

バートン: ソナチネ より 第1楽章、第3楽章

E. Burton: *Sonatina, I. Allegretto grazioso III. Allegro giocoso*

バートンはアメリカに生まれ、ニューヨークを中心に作曲家兼ピアニストとして活躍しました。この作品は3楽章で構成されていますが、今回は第1楽章と第3楽章を演奏します。第1楽章はピアノの軽快なリズムとフルートの優雅な旋律と、ピアノとフルートの対話をするような旋律が特徴です。第3楽章は明るく活気に満ちており、スペイン舞踊の〈ファンダンゴ〉のリズムが効果的に用いられ、技巧的で華やかに幕を閉じます。



[Profile] 第76回全日本学生音楽コンクール大阪大会高校の部第1位。第24回日本演奏家コンクール木管部門高校の部第2位、併せて神戸市長賞受賞。伊藤公一、清水信貴、竹林秀憲、山腰まりの各氏に師事。相愛大学音楽学部特別奨学生。

わたなべ れん
02. 渡邊 練 愛知県立芸術大学 4年/バリトン

ピアノ
市川 偉琉

シューベルト: 魔王 D.328

F. Schubert: *Erlkönig, D.328*

マスネ: 歌劇《エロディアード》より「はかない幻」

J. Massenet: "Vision fugitive" from *Opera Hérodiade*

1曲目の「魔王」はゲーテの詩をもとにした作品で、馬に乗った親子が魔王に追われるお話です。伴奏パターンは走る馬の様子を表しています。2曲目の「はかない幻」は、サロメに不義の愛を抱いているエロド王が、飲むと幻影をみることができるとい魔法の酒を飲み、サロメの幻を見ながら陶酔するアリアです。



[Profile] 兵庫県出身。2024年岐阜国際音楽祭大学生部門第1位。2025年愛知県立芸術大学音楽学部第58回定期演奏会に選抜。C.シュトレール教授のマスタークラス修了。森寿美氏に師事。2025年度(一財)山田音楽財団奨学生。

しぶ や あきよ
03. 渋谷 晶世 京都市立芸術大学 4年/ヴァイオリン

ピアノ
石川 恵

ストラヴィンスキー: 「プルチネルラ」による組曲 より I. 序奏、III. タランテラ、V. メヌエット-終曲

I. Stravinsky: *Suite after Pulcinella, I. Introduzione, III. Tarantella, V. Minuetto e Finale*

この曲は1919~20年に《プルチネルラ》というバレエ・リュスのバレエ作品のためにストラヴィンスキーが書いた管弦楽作品が元で、今回演奏するのは1933年にヴァイオリンとピアノ用に編曲されたものです。ストラヴィンスキーらしい鋭いリズム感と色彩感豊かなこの組曲は、数々のヴァイオリニストに愛されています。



©ayane shindo

[Profile] 高知県出身。CONVIMS International Violin Competition 2025にて奨励賞受賞。ヴァイオリンを宮内康恵、沼田園子、四方恭子、戸上真里の各氏に師事。

たきがわ ももか
04. 滝川 桃可 東京藝術大学 3年/チェロ

ピアノ
倉橋 陽土

ブラームス: チェロ・ソナタ 第1番 ホ短調 op.38 より 第3楽章

J. Brahms: *Sonata für Klavier und Violoncello e-moll, op.38, III. Allegro*

ブラームスが拠点をウィーンに移した頃、1862~65年にかけて作曲された作品です。全3楽章から成り、本日演奏する第3楽章は、J.S.バッハの《フーガの技法》に由来する主題を用いた、対位的なフーガ形式で展開されます。緩徐楽章を持たないこのソナタならではの緊密な構成の中に響く、若きブラームスの渋さと巧みな作曲技法をお楽しみください。



[Profile] 東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業。第79回全日本学生音楽コンクール全国大会大学生の部第1位。第36回市川市新人演奏家コンクール弦楽器部門最優秀賞。中木健二、山本大の両氏に師事。

まつもと あい
05. 松本 亜依 沖縄県立芸術大学 3年／ピアノ

プロフィール：ピアノ・ソナタ第7番 変ロ長調 op.83「戦争ソナタ」より 第1楽章

S. Prokofiev : Piano Sonata No.7, B-flat major, op.83, I. Allegro inquieto

この曲は戦時下に書かれた3曲の「戦争ソナタ」の一つです。不安と緊張を帯びた動機や鋭いリズム、荒々しい和音の特徴で、内省的で叙情的な主題との対比が激動の時代を映し出しています。



[Profile]奈良県出身。大阪府立夕陽丘高等学校音楽科卒業。第56回新報音楽コンクールピアノ部門一般の部第1位ならびに特賞受賞。これまでに、松本はるみ、福井亜貴子、大富栄里子、小杉裕一の各氏に師事。2024年度(公財)青山音楽財団奨学生。

■ 休 憩 ■

やまもと まゆこ
06. 山本 万祐子 東京藝術大学 4年／能楽(宝生流)

地謡

水上 優、松田 脩

世阿弥元清：仕舞「百萬クセ」

ZEAMI Motokiyo : Shimai Hyakuman Kuse

春、嵯峨野の清涼寺を舞台に、生き別れた我が子を求めて彷徨う狂女「百萬」。狂乱の舞の奥にあるのは、母としての深い愛と尽きぬ執心です。祈りの力に導かれ、やがて親子は奇跡の再会を果たします。京都ゆかりの地に思いを重ね、能の見どころとなるクセ部分を紋付き袴姿での仕舞という上演形式で、切なる願いを込めて勤めます。



[Profile]福岡県出身。2024年に二十代宗家宝生和英氏に入門。シテ方宝生流能楽師久貫弘能、武田伊左の両氏に師事。2016年「鞍馬天狗」花見にて初舞台。安宅賞受賞。

いしかわ みゆう
07. 石川 未侑 沖縄県立芸術大学 4年／琉球古典音楽(歌三線)

琉球古典音楽：仲風節(なかふうぶし)

Ryūkyū Classical Music : Nakafū-bushi

仲風節(なかふうぶし)は、高音域の旋律に魅力があり叙情的に歌われます。また、細やかで技巧的な三線伴奏が特徴であることから「古典音楽の花」とも称されています。歌詞は「この世は誠実さが大切です。どうして誠の言葉で通じ合えないことがあろうか」と、人生における教訓的な要素が詠み込まれています。



[Profile]沖縄県出身。2023年第57回琉球古典芸能コンクール太鼓部門最高賞。2024年第58回琉球古典芸能コンクール三線部門優秀賞。2025年琉球民謡協会教師免許取得。2024年沖縄県立芸術大学音楽学部第35回琉球芸能定期公演に選抜。

みやた はな
08. 宮田 花和 東京藝術大学 4年／囃子(小鼓)

長唄三味線

松本 夏苗

五代目 杵屋勘五郎(曲)大槻如電(詩)：長唄《島の千歳(しまのせんざい)》

KINEYA Kangoro V (music), OTSUKI Joden (lyrics) : Nagauta Shima no Senzai

この曲は、白拍子の祖と伝えられる女性〈島の千歳〉を題材にした御祝儀曲です。白拍子は水干に烏帽子の男装で今様を歌い舞い、神や人を慰めた芸能でした。歌詞には水の恵みと尽きぬ繁栄への願いが込められ、澄んだ鼓の音色が水の流れるように舞を支え、祝いの場を華やかに彩ります。白拍子がつ力強さと優美さを鼓の音色とともに表現します。



[Profile]富山県出身。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業。令和3年に望月太左花衛の芸名を許される。邦楽囃子を12代目宗家元望月太左衛門氏、長唄三味線を杵屋五之吉氏に師事。

わたなべ そう こ
09. 渡邊 奏子 桐朋学園大学 1年/ヴァイオリン

イザイ: 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第4番 ホ短調 op.27-4 より 第1楽章、第3楽章

E. Ysaÿe: Sonata for Solo Violin No.4 in E minor, op.27-4

I. Allemanda: Lento maestoso III. Finale: Presto ma non troppo

この曲は1923年頃作曲され、バッハの《無伴奏ヴァイオリン・ソナタとパルティータ》の影響を受けており、楽章のタイトルには舞曲名が冠されています。対位法的書法や舞曲のリズムが用いられ、イザイと親交のあったフリッツ・クライスラーに献呈されました。



[Profile] 桐朋女子高等学校音楽科卒業(首席)。第76回全日本学生音楽コンクール東京大会高校の部第3位。ヴァイオリンを辰巳明子、森川ちひろ、室内楽を山崎伸子、池田菊衛、磯村和英の各氏に師事。

くろさわ ゆう た
10. 黒澤 雄太 京都市立芸術大学 4年/ヴィブラフォン

ドナトーニ: オマール より 第2楽章

F. Donatoni: Omar, II mvt

フランコ・ドナトーニ(1927-2000)は、イタリアの作曲家。本作は同胞の打楽器奏者マウリツィオ・ベン・オマールに捧げられ、1985年に初演されました。12音技法や中心音的構成を基調とする各セクションは、ヴィブラフォン特有の響きや揺れに加え、マレットやテンポの指定によって多様な表情を現します。



[Profile] 大阪府出身。第30回KOBÉ国際音楽コンクール打楽器C部門奨励賞。2025年第177回京都市立芸術大学定期演奏会に選抜。打楽器を葛西友子、森本瑞生、中村功、井口雅子、中山航介、堀内吉昌、真鍋明日香、マリンバを沓野勢津子、大茂絵里子の各氏に師事。

■ 休 憩 ■

やまざき ゆう た
11. 山崎 雄太 東京藝術大学 2年/テノール

ピアノ

山口 佳代

レオンカヴァッロ: 四月

R. Leoncavallo: Aprile

トスティ: 歌曲集《アマランタの四つの歌》より

「私を放して、私に息をつかせて」、「暁は光から闇を隔て」

F.P. Tosti: "Lasciami! Lascia ch'io respiri", "L'alba separa dalla luce l'ombra"

from Quattro canzoni d'Amaranta

「四月」は、春の訪れと共に芽生える恋と生命の喜びが、レオンカヴァッロらしいドラマ性をもって表現された歌曲です。続く《アマランタの四つの歌》は、詩人G.ダンヌンツィオの濃厚な恋愛観が表れた作品です。第1曲では愛の陶酔と苦しみ語るように、第2曲では夜明けによる別れと死への憧れが鮮烈に歌われます。



[Profile] 広島県出身。エリザベト音楽大学大学院修了。第76回全日本学生音楽コンクール大阪大会大学の部第2位。これまでに声楽を折河宏治、鈴木准の両氏に師事。

はな おか あや
12. 花岡 綾 東京藝術大学 4年/オーボエ

ピアノ

大堀 晴津子

R. シューマン: 3つのロマンス op.94 オーボエとピアノのための

R. Schumann: Drei Romanzen, op.94, für Oboe und klavier

オーボエ奏者で作曲家のハインツ・ホリガーが「ロマン派全体を見渡しても最も重要なオーボエ作品」と評したこの曲は、1849年12月シューマンが妻クララへのクリスマス・プレゼントとして作曲したと言われており、オーボエ吹きにとって特別な名曲です。感情の揺れや内面的な深さが全ての音に凝縮されており、高いレベルの表現力が求められる作品です。



[Profile] 岡山県出身。第53回岡山県学生音楽コンクール木管楽器高校生部の部第1位。第33回日本クラシック音楽コンクールオーボエ部門大学の部最高位。2025年度モーニング・コンサート第10回にて藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。津上順子、和久井仁、宮村和宏、吉井瑞穂、池田昭子の各氏に師事。2025年度春秋育英会奨学生。

そね かれん
13. 曾根 果恋 愛知県立芸術大学 3年/ピアノ

ラヴェル:《夜のガスパール》より 第1曲「オンディーヌ」嬰ハ長調

M. Ravel: *Gaspard de la nuit, I. Ondine*

《夜のガスパール》は、小ロマン派の詩人、ベルランの同名の詩による作品です。オンディーヌ(水の精)は、湖底に住む娘ですが、地上の人間に恋をします。水を描写するような細かい音符の上で、悲哀に満ちた旋律が長い息で歌われます。オンディーヌの願いは叶わず、泣き叫び、再び湖底へと消え去ります。



[Profile]愛知県出身。愛知県立明和高等学校音楽科卒業。第10回岐阜県ピアノコンクール金賞。第39回JPTAピアノオーディションC部門全国大会優秀賞。これまでに、大橋英子、澤田令子、中根浩晶、武内俊之の各氏に師事。

た だ り ょ う ご
14. 多田 凌吾 東京藝術大学 4年/ホルン

ピアノ
蒲生 祥子

R. シューマン:アダージョとアレグロ op.70

R. Schumann: *Adagio und Allegro, op.70*

シューマンの多作期である1849年に、ホルンとピアノのために作曲された作品です。抒情的なアダージョと躍動的なアレグロから成り、歌い上げる旋律と明快な構成が特徴です。作曲者自身による編曲のチェロ版をはじめ、現在では他の楽器でも広く演奏されていますが、ホルン奏者にとっては最も重要なレパートリーの一つとなっています。ロマン派音楽の深い情感と、ホルンという楽器の魅力を存分にお楽しみください。



©ayane shindo

[Profile]第38回日本管打楽器コンクールホルン部門入選。第92回日本音楽コンクール入選。第22回東京音楽コンクール金管部門第3位。PMF2025に参加。ホルンを若木曜、慶野未来、日高剛、勝俣泰、木川博史、豊田実加の各氏に師事。

しま だ あい こ
15. 嶋田 愛子 京都市立芸術大学 4年/ピアノ

ショパン: 練習曲 変イ長調 op.25-1「エオリアン・ハーブ」

F. Chopin: *Étude in A-flat major, op.25-1 "Aeolian Harp"*

プロコフィエフ: トッカータ ニ短調 op.11

S. Prokofiev: *Toccata in D minor, op.11*

「エオリアン・ハーブ」は、絶え間なく続く分散和音の中から美しい旋律が浮かび上がる作品です。和声の移ろいと音域の広がりが繊細な響きを生み、香り立つような詩情を湛えています。一方の「トッカータ」は、同音連打から生まれる緊張感と度数の拡張、そして鋭い和声進行による持続的な圧力が特徴です。無機質な運動性の中に造形的なユーモアを滲ませ、強烈なエネルギーが全曲を貫きます。対照的な性格を持つ二つの作品を通して、ピアノの多彩な表現をお楽しみください。



[Profile]第32回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール中学生の部最年少優勝、第6回京都国際音楽コンクール大学生・一般の部第1位。ソニーCSLピアノアカデミー第1期生。荒木美佳、C.ソアレス、田村響、萩原麻未の各氏に師事。



公益財団法人青山音楽財団 事業内容

主催公演事業

国内外から優れた演奏家を迎え、音楽文化の発信と普及の場として演奏会を行っています。室内楽専用に設計された音響を持つ200席の空間で、贅沢なひとときをお楽しみください。

顕彰事業

毎年1月から12月までの期間中、パロックザールで開催し、かつエントリー条件を満たした公演の中から選考し、「新人賞」「青山賞」「パロックザール賞」の三部門で、演奏家の成長と芸術性の向上への期待を込めて「青山音楽賞」を授与しています。

助成公演事業

演奏家の活動支援の一環として、ホール使用料の減免など演奏会の費用助成を行っています。

育成支援事業

音楽を学ぶ学生たちや団体によりよい環境づくりの支援をしています。

- ・学校等支援事業…大型楽器や楽譜の購入、マスタークラスの開催などに活用されています。
- ・奨学金事業…音楽大学または音楽学部で学ぶ優秀な学生へ奨学金の給付を行っています。

公益財団法人青山音楽財団は、広く音楽活動の普及と発展に寄与しています。詳しくはホームページをご覧ください。
www.aoyama-music-foundation.or.jp